

会 議 録

- 1 会議名称 令和4年度 第1回 市民太陽光発電所・市民還元事業検討懇話会
- 2 報 告 (1) 市民太陽光発電所・市民還元事業検討懇話会の体制について
(2) 市民太陽光発電所の近況について
- 3 議 題 (1) 平成3年度 市民還元事業の実施報告について
(2) 令和4年度 市民還元事業の実施状況について
(3) 令和5年度 市民還元事業の実施方針について
- 4 開催日時 令和4年7月14日(木) 14時00分～15時30分
- 5 開催場所 北九州市役所5階 プレゼンルーム
(北九州市小倉北区城内1-1)
- 6 出席構成員 北九州商工会議所 専務理事 羽田野 隆士
北九州ESD協議会 会員 泉 優佳理
小倉南区女性団体連絡会議 顧問
(北九州市女性団体連絡会議) 土井 智子
北九州市立大学大学院国際環境工学研究科 松崎 桜
北九州市PTA協議会 会長 三浦 隆史
※座長以外は、五十音順

7 議事の概要

(1) 平成3年度 市民還元事業の実施報告について

平成3年度の市民還元事業について、実施内容を報告した。

- 1 エコライフステージ20周年記念事業
・エコライフステージ20周年を迎え未来を考えるオンラインイベントをメインに企画を実施した。
- 2 みなとオアシス門司港推進事業
・食やアートをテーマにした創出イベントや船舶を利用したクルーズ等を実施することによって、みなとを核としたまちづくりを行った。
- 3 海辺の憩い・賑わい TRIALPROJECT
・本市で整備した海辺空間の利用を促進し、海辺スポットデジタルスタンプラリーを実施した。
- 4 with コロナに向けた門司港レトロ地区を中心とするエリアの回遊性を高める観光ガイドシステム構築
・スマートフォンで散策コース・観光スポット・飲食店等を紹介する観光ガイドシステムを構築した。

- 5 **地域で育もう「未来の種」事業**
 - ・市民センター、地域団体を主体とし子どもの健全な発達・育成を促す「ボランティア」や「自然」等に関わる体験活動を実施した。
- 6 **地域でつくる「子ども食堂」応援プロジェクト事業**
 - ・多くの方々に子ども食堂を身近に感じていただくために、学生研修会やセミナー等を実施した。
- 7 **商店街活性化に繋がるハイスクールサテライトキャンパス支援事業**
 - ・若松高校の生徒を中心とした、商店街の空き店舗使用のサテライトキャンパス活動や地元企業等の紹介冊子の作成を実施した。
- 8 **折尾まちなか謎解きゲーム**
 - ・黒崎及び折尾エリアで謎解きを楽しみながらまちの魅力を再発見してもらう、エリア周辺型謎解きまち歩きイベントを実施した。

(2) 令和4年度 市民還元事業の実施状況について

令和4年度の市民還元事業について、中止となった事業について説明した。

- ・「KPF（北九州ポップカルチャーフェスティバル）2022」と「まつりみなみ2022 大復活祭！」は、コロナの影響により中止となった。

(3) 令和5年度 市民還元事業実施方針について

以下のとおり、令和5年度の市民還元事業の実施方針を説明した。

募集テーマ

- ・市民還元事業は、これまで「市制50周年基本構想の4つのテーマ」に基づき、募集・選定を行ってきた。募集テーマは3年を目途に見直しを行うことにしているが、令和2年度に令和3年度～令和5年度も引き続き、4つのテーマに基づき、選定することとなっている。
- ・令和5年度の事業募集テーマについても、「市制50周年基本構想の4つテーマ」で募集を行うこととし、幅広い事業の中から市民還元事業の選定を行っていきたい。

《市制50周年基本構想の4つテーマ》

- ① 市民や地域の力を生かしながら一体となることで、まちの力をさらに引き出す
- ② 郷土・故郷への愛情を深め、誇りを高める
- ③ 本市の強みを国内外に向けてアピールし、まちに人を呼び込む
- ④ 将来を担う子ども達に夢や希望を与える

選定方法

- ・市各部局へ事業を募集し、検討懇話会の意見を聴取したうえで選定を行う。
- ・「事業効果の高い事業」は、第2回（10月）の検討懇話会で、各事業のプレゼンテーションを実施する。
- ・令和4年度の選定事業において、新型コロナウイルス感染の拡大防止対策のため中止となった2事業については、引き続き令和5年度においても選定する。

8 経 過（発言内容）

（1）令和3年度市民還元事業の実施報告に関する意見

- ・「未来の種」事業について、市民センターが全部で100ヶ所以上あると思うが、その中で応募や選考などを行って実施しているのか。市民センターからは「予算をいただいて良い事業ができた」「企画作りが楽しかった」「また実施して欲しい」等の声が届いている。
⇒令和4年度も認定している。選定方法等は聞いていないが、実施計画では、令和3年度とは違う市民センターで実施すると聞いている。（事務局回答）。
- ・小倉南区の花火大会が中止になったが、200万の予算はどうなるのか。また、全体的に余った予算はどうなるのか。
⇒剰余金として、翌年度へ繰り越すことになる。（事務局回答）。
- ・子ども食堂の事業について、食事をする人に基準はあるのか。
⇒条件はないと思う。地域の子ども達に居場所づくりという意味もあり、ボランティアでされている方が多いと聞いている。（事務局回答）
- ・子ども食堂は、増える傾向があるのか。
⇒子ども食堂のマップ上では24か所あり、孤食の防止、食べられない子たちのために、この活動は広がっている。受け皿になってくれる人が増えれば広がっていく、そういう趣旨で人材育成を含めて行っていると思う。（事務局回答）

（2）令和5年度 市民還元事業実施方針に関する意見

- ・ 市民のために有効的に使うには、地域のいろいろな行事などを、きめ細かくひろって、市民太陽光の売電収入で実施できれば、PRにもつながると思う。
どうやって実施すればいいのかは難しいが、区役所を通して、意識的に提案してもらうことも必要かもしれない。
⇒大きいイベントも大事だが、地域密着型の市民参加型イベントに支援することも大事だと思っている。例えば、市の部局が市民センター分を取りまとめて申請、区役所が地域の大会・イベントを取りまとめて申請してもらう等の方法があると思うので、募集の際にアナウンスできればと思う。（事務局回答）。
- ・ 事務局は大変だと思うが、多くの市民の方々に、市民太陽光の売電収入が有効的に使われているということを知ってもらうことは大切だと思う。多くの市民の方々に行事に参加してもらうことが、知ってもらうことにつながると思う。

8 そ の 他 傍聴者無

9 問い合わせ先 港湾空港局 総務部 総務課 経営係（電話 093-321-5916）